

班活動報告

第8期の班活動では昼の部・夜の部共に「ジェンダー視点からみた防災」をテーマに活動を行いました。防災の専門家からの学びが必要であると考えました。1年目に「学び」、2年目には学びを共有し、「避難所づくりにおけるジェンダー視点からみたチェックポイント」を作ることを目標に掲げ、2年間取り組みました。



【昼の部】

《リーダー》齋藤 智子

《オブザーバー》天野 光江

《メンバー》19名



【夜の部】

《リーダー》奥石 直美

《オブザーバー》小田切 進

《メンバー》15名

「ジェンダー視点でみた防災」における主な活動

令和4年 9月 5日	学習会 文献から学ぶ災害とジェンダー 発表:井尻真理子委員長
令和4年10月 3日	学習会 防災講座 講師:消防基金指導員 剣持孝弘さん
令和4年10月 4日 ~20日	甲府市防災リーダー研修会 任意で委員10名が受講
令和4年11月12日	甲府市総合防災訓練 女性の視点に立った防災座談会 参加:井尻真理子委員長 天野光江委員
令和5年 5月 8日	学習会 甲府市の防災と女性の防災について 講師:甲府市地域防災課 福田智子さん
令和5年 6月12日	学習会 ジェンダー視点の防災について 発表:天野光江委員
令和5年 7月10日	第1回班活動
令和5年 8月 7日	第2回班活動
令和5年 9月11日	第3回班活動
令和5年12月11日	第4回班活動

班活動報告



講座を受講する前に

第1回班活動 令和5年7月10日(月)

委員1人ひとりが想像する、ジェンダー視点からみた避難所の問題点を考え、共有するワークショップを行いました。自分の考えを伝えるよい機会になりました。

避難所運営を学ぶ

第2回班活動 令和5年8月7日(月)

NPO法人災害・防災ボランティア未来会 山下博史さんにご講演いただきました。避難所運営ゲームHUG(机上で行う体験型シミュレーションゲーム)を使い、避難所生活や平常時の備え、想定外の事案に遭遇した場合の対応を考えました。



ジェンダー視点でみた 防災に必要なことは？

第3回班活動 令和5年9月11日(月)

避難所運営ゲームHUGの体験を通して、新たに出てきた問題点や課題を洗い出し、「避難所づくりにおけるジェンダー視点からみたチェックポイント」の土台づくりをしました。

第4回班活動 令和5年12月11日(月)

前回の班活動で行ったグループワークやアンケートを基に「避難所づくりにおけるジェンダー視点からみたチェックポイント」の案を作成しました。

【委員の感想】

- ・避難所づくりにおいて、事前の準備が必要だとわかりました。
- ・避難所運営ゲームHUGにより具体的なイメージをすることが出来ました。
- ・自治会内の世帯等を把握し、常に情報を更新しておくことが必要だと思いました。

班活動のまとめ

避難所づくりにおける ジェンダー視点からみたチェックポイント作成

全4回の班活動を通して、「避難所づくりにおけるジェンダー視点からみたチェックポイント」が出来ました。防災をジェンダー視点から考えて意見を出し合ってまとめたものを掲載しています。委員がそれぞれの家庭、職場、所属している自治会や各種団体にこのチェックポイントを伝えていきたいと思います。

「ジェンダー視点からみた防災に」の気づきの第一歩として対話をさせていただくことを目的としています。

避難所づくりにおける ジェンダー視点からみたチェックポイント

災害が発生した際に各自治会における避難所の設営について、
ジェンダー視点を取り入れたチェックポイントです。

各自治会や組織で災害に備え、
話し合っていたためのきっかけにいただければ幸いです。

No	ジェンダー視点からみたチェックポイント	☑
1	トイレは人目につきやすい場所に設置してありますか？ 性犯罪防止のために人目につきやすいところに設置しましょう	
2	入浴時間を男女で分けてありますか？ 女性の入浴時間帯には女性の見張り役をつけましょう	
3	物干し場のエリアは、男性・女性で分けてありますか？ 下着が干しづらい、盗難等があるので監視役は女性にしましょう	
4	男性用・女性用の更衣室はありますか？ 防犯のため、場所を分けて配置しましょう	
5	炊き出し係が女性だけの負担になっていませんか？ 男性も積極的に参加しましょう	
6	授乳室はありますか？ 外から見えない配慮をしましょう	
7	ひとりで避難している女性たちをグループで配置していますか？ 盗難や性犯罪防止のため、声をかけあい、ひとりで行動しないようにしましょう	
8	物資の配給係は男性だけでなく、女性も配置されていますか？ 生理用品など、女性でないと言いにくい場合があります	
9	リーダー（決定する役割）の中に女性はいますか？ 女性・子ども・若者・高齢者・障がい者それぞれの視点が必要です	
10	あなたの自治会に女性の防災リーダーはいますか？ 甲府市には「女性のための防災リーダー研修」があります	

ジェンダーとは、「男・女」という生物学的な性別ではなく、
長い歴史の中で社会的・文化的に作られてきた性差を示す概念のことです。
「女性だから」「男性・女性どちらにも属さない性だから」という理由で差別を受けたり、
社会の中で活躍する機会が少なかったりすることもあります。
甲府市男女共同参画推進委員会は、そのような差別や不平等をなくし、
だれもが自分らしく生きることが出来る甲府市を目指して活動しています。

第8期甲府市男女共同参画推進委員会
令和5年度作成

2年間の班活動を終えて | テーマ:ジェンダーの視点からみた防災

天野 光江

ジェンダー視点からみた防災については、これからも続けて学び啓発活動に繋げていく必要があると思います。

井尻 真理子

学んだことをこれから地域に発信して、「気づき」に繋げていきたいです。

今村 ヒロ子

活動を通して、女性としての立場から気づき、学んだ事を、今後は自治会で活かして役立てていきたいと思っています。

江里口 智美

何も分からなかったなので、私に務まるか不安でしたが、防災とジェンダーについて、大変勉強になりました。

遠藤 文子

積極的に活動に参加できなくて、すみませんでした。ジェンダー視点の防災をもっと勉強して、地域に活かせたらと思います。

奥田 正治

「SDGs」「防災」を学びましたが、社会の中で大切にされたり、話題、課題となっていることの多くにジェンダー視点が必要であり、もっと反映されるべきだと感じています。

小澤 房子

防災について、「備えあれば憂いなし」理解しているようで、いざ、となると身も心も動かなくなってしまうのが現実です。山下先生の生の映像を見て、現実の恐さ、惨めさを改めて知ったご講演で、今年度の活動でとても参考になりました。秋は休みがちでしたが、楽しく活動させて頂き感謝しております。皆々様、ありがとうございました。

小田切 進

防災には避難した様々な人が意見を出し合い、その人の個性や得意な技術を出し合って運営していくのが良いと思います。特に、男性、女性の特有な意見を尊重してほしいです。推進委員活動内でもう少し全体のコミュニケーションを取りたかったです。

落合 洋子

避難所設営について学び、これまで自助の範囲しか考えていませんでした。しかし、共助まで考えを広げ、対策を立てることの大切さを知りました。

上條 孝子

防災には関心があり、講習等を受けてきましたが、今回「ジェンダーの視点」を取り入れる事により、今まで気づかなかった事に意識を向けることができ、大変有意義でした。今後、地域の活動に少しでも役立てていきたいと思っています。

川端下 陽子

定例会や行事へあまり参加出来なかったのですが、活動を通して様々な知識を増やすことができたので、今後は地域で何ができるか考えて行動していきたいです。また子供同伴をみなさまが快く迎えてくださったことが大変嬉しかったです。育児が一段落すればぜひまた参加したいです。

川邨 靖

今期の学びを基に、自身の住む地域への展開。微力ながらも、提案する機会が在ればとの思いであります。

菊嶋 慶彦

各々の推進委員がどのように考えているか、分からず、小グループでテーマを決め、意見をお互いに言いあつてグループの考えをまとめられたらと思う。

河野 彰

現役時代はこのような委員をお願いする立場だったのですが、今回自分が委員となって活動してみると身をもってその大変さを思い知ることができました。今後も何らかの活動に参加していきたいです。

奥石 直美

男女共同参画の視点は、あらゆる場面にあるものですが、時代と共に変わりゆくものや変わらないものもあると2年間の活動を通して学ぶことが出来ました。

小林 清巳

様々な問題があり、ジェンダー視点からみた防災について学び、委員同士の話し合いを通し、どう接するか活動していくべきなのか、前にも増して理解が出来るようになりました。

五味 明美

「ジェンダー視点での防災」とは、具体的にどの様にしたらと、わかりませんでした。班活動の中で講義を聴いたり、委員間でのミーティングを重ねる事により、具体的な方法等を意識するようになりました。この意識を少しでも広げていきたいと思います。

齋藤 智子

2年前の私は、何も分からないまま委員になりましたが、皆さんの考えや優しさに触れ、もつとこの活動をたくさんの人に知ってほしい気持ちが大きくなりました。

酒井 大介

これまでもジェンダー視点から防災を見るように意識はしていたものの、今回、そのものをテーマにして学んだことで、より具体的に課題を知り、対策を学ぶことが出来ました。ジェンダーと防災という分野を2つ重ね合わせた特化したテーマにすることで深く学ぶことができることがわかりました。今後様々な機会にこの手法を取り入れていきたいと考えています。

志茂 清美

はじめは何をするかもわからず、理解する事に集中していました。次第に、仲間づくりができ、イベントなどでも新たな発見ができました。防災のテーマから今まで見ていた視点を変える事ができ楽しい活動ができました。

清水 正

今期は防災におけるジェンダーについて学びました。防災については皆さんの関心も高くメディアでも多く取り上げられています。今回学んだ防災も含め「ジェンダーに敏感な視点で日常をみる」をこれからも心掛けていきたいと思います。

末木 玲子

災害時の課題等を学ぶことにより、必要なことがみえてきたように思います。意識の高い方や甲府市各地域からの委員の意見を毎回聞き、学び合うことで自分自身の意識を高めることができました。

関 和美

メンバーのみなさんと意見交換する機会が多くあり、有意義でした。これらの対話や学習会で学んだことを実践していきたいと思います。

鷹野 史子

女性団体愛育会からの代表として甲府市男女共同参画推進委員になりました。愛育会活動に今後活かせる内容があるか、考えてみようと思います。

辰巳 義正

この2年間でジェンダー視点からの防災について勉強することができました。この活動を通して、女性からの意見が参考になりました。今後の活動において、活かしていきたいと思います。

田中 克枝

推進委員の活動の中で、人という字が今まで以上に好きになりました。誰かが大変な時に支えてあげたいし、自分が辛い時には支えてもらいたいです。

永井 利枝

求められているものが何なのかわからずに行事に参加したり、グループワークをしてきましたが、2年間のなかで、少しでも様子がわかりました。リーダーの方々に頼ることの多い作業でしたが、うまくまとめたいただき感謝しています。

中村 京子

子ども、女性、高齢者、障がい者を有する方等が安心して避難できる所という点を配慮した場所を地域ごとに作っていくことが大切、などと2年間の学びを通して考えが変化してきました。

野村 明美

男女共同参画推進委員として防災について学びはじめた時期に、自治会長を仰せつかり地元で活動して、自分の住む地元の高齢化・一人世帯の深刻さがわかり、今災害が起きたら女性自治会長として何ができるのか考えさせられました。2年間の学びやディスカッションで、防災は自分自身が必要な知識と正しい準備によってこそなせると思っています。

藤原 一三

研修や講演会を通して、実際起きた災害へ取り組む姿を見て、確実に災害に対する意識と対応能力が高められました。思うように活動が出来なかったことを反省しています。

森 みどり

ジェンダーの視点からみた防災について講演やAED体験等で新たな学びや気づきを多く持つ事ができました。甲府大好き祭りやSDGsの啓発活動に参加させていただき、自分が行動したり発表することで誰かの心に届いたらという想いが強くなったように思います。今後も男女共同の意識向上に努めていきたいです。

矢崎 真由美

今期の活動は、はじめからテーマが決められており、毎回学びがありました。情報を得て、防災リーダー研修を受講し、無事終えることができました。

山田 千恵美

ジェンダー視点からみることが出来る奥深い防災を学ぶことができました。「女性のための防災リーダー研修」を受講することができ、防災リーダーになれたことが良かったです。

SDGsプロジェクトチームによる「SDGs気づきの小話」 『SDGsに敏感な視点で日常をみる』～カノさん家の日常とSDGs～

甲府市男女共同参画推進委員会は
SDGs17の目標に賛同し、
次の6つのSDGs目標に取り組んでいます。

この6つの目標について、
プロジェクトチームを立ち上げ、
SDGs小話パネルを作成しました。

SDGsへの取組が
誰にでも出来る事に気づくことで
個人、家庭、地域、市町村、
企業、国、世界へと広がっていく事の
きっかけとなることを望んでいます。



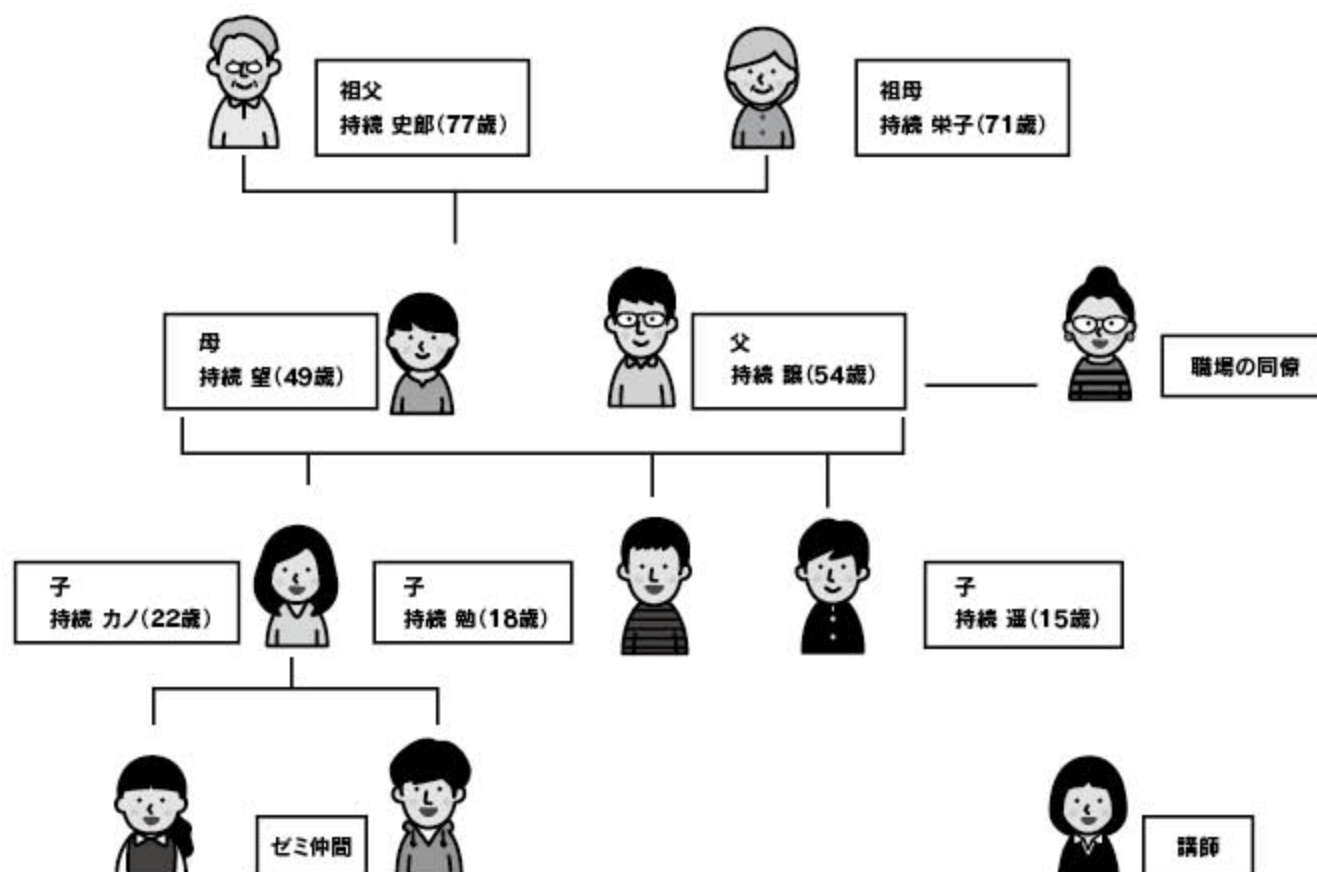
～ SDGsプロジェクトチーム～



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGsプロジェクト・チーム」はSDGs 気づきのパネルを作成しました
身近な出来事を見直すことで変っていく事が出来る気づきをあたえたい!

SDGs気づきの小話登場人物図



SDGs 気づきの小話

3 すべての人に健康と福祉を



目標3:すべての人に健康と福祉を
～大学での会話～



カノ(子)

世界では、5歳になる前に亡くなる子どもの数が、600万人も超えていて、はしかや結核などの予防可能な病気で命を落とす子どもが毎日1万6,000人いるそうよ。

資料:SDGs目標3すべての人に健康と福祉をの取組事例より引用

そうだね、日本は国民皆保険制度(こくみんかいほけんせいど)があり、医療を受けやすい環境が整っているから安心だけど、外国は日本とは違い無保険の人が多んだよ。例えば、アメリカの医療費は日本に比べて、とても高額なんだ、日本医師会のホームページをみて知ったのだけど、虫垂炎の入院医療費は、日本では約31万円だけど、アメリカの私立病院では約599.5～816.5万円かかると書いてあったよ。高級車が買える金額だね。アメリカでは原則、病院が医療の価格を決めているそうだよ。



ゼミ仲間

資料:日本医師会・日本と外国諸国の医療水準と医療費より引用



カノ(子)

日本で暮らす私たちは恵まれているけど、世界の多くの人たちが医療機関にかかれないことで亡くなっている事が大きな課題なのよね。健康な生活を送るために、医療や介護などの福祉をどこの国であっても受けられるように環境を整えることをが大事でしょう。ねえ、私たちが出来る事ってあると思うのよ。例えば、清潔な水を飲めるよう井戸の設置、ウォーターエイドの「すべての人がすべての場所で、清潔な水と衛生設備を利用し、衛生習慣を實踐できる世界」を実現する活動に参加してみない？ 認定NPO法人ウォーターエイドジャパンについて詳しく調べてみるね。

4 質の高い教育をみんなに



目標3:質の高い教育をみんなに
～家庭で～



母

もう遅いから、電気を消して、眠りなさい。



遥(子)

今まで勉強していたから、少しだけゲームさせて。



母

ねえ、地球上で今、「無電化地域」に暮らす人々が約11億人いるんだって知っていた？



遥(子)

なにそれ？



母

そのゲーム機の会社は日本が誇る電機メーカーでしょう。この会社は、無電化地域に明かりを届けることで、教育、医療、経済、安全等の課題を解決する社会貢献をしているのよ。



遥(子)

電気が無いと、太陽が沈めば暗闇だよ、地域全体が真っ暗なんて想像するだけで不便そう。オール電化の家は、何もできなくなっちゃうね。無電化地域に明かりを届けるってどうやって？



母

「ソーラーランタン」を届けるのよ。「ソーラーランタン」とは日中、太陽光のエネルギーを貯めて、日没後に灯をともしことで、学校に通えない子どもや満足に学校に通えないまま成人した人を対象とした教育を夜間に行っているんだって。夜間教育において教育の質を向上させることに貢献しているのよ。



遥(子)

そんな話を聞くと、夜ゲームをしにくいな。



母

国や地域の違いで全く違う生活があるという事を忘れずにいましょうね。「ソーラーランタン」が無電化地域に様々な明るい変化をもたらしているそうよ。企業レベル、個人レベルで支援できることは色々あるのよね。

SDGs 気づきの小話



目標5: ジェンダー平等を実現しよう
～家庭で～



母

困ったわ、農業委員に推薦されたの。いったい何をするのかしら。農業委員なんて男の人がなる名誉職のようなものだと思っていたのよ。

んー、農業委員は今まで女性が推薦された事はないよ。



父



祖父

女が農業委員なんて聞いたこともない。そんなことはやらない方がいいぞ。女が外で口をきいてろくなことになるぞ。

なぜ、女性はダメなのかしら。私も毎日畑で働いて、女性だからといって出来ない仕事なんて何もないけど。むしろ、私の方がより細かい事に気が付くと思うわ。実際、ぶどうの傘かけとか私の方が早いじゃないかしら。



母



父

確かに仕事の種類によっては早いよね。それに、お手伝いに来てもらっている女性たちの仕事の様子を見ても男性との格差なんて無いよね。やってみたら良いじゃないか。男性には気付かない事がたくさんあるんじゃないかな。

そうね、私、この推薦を受けてみるわ。日頃感じている事や私ならではのアイディアを活かせるかもしれないわね。



母



祖父

やめとけ、しゃしゃりでたって女の言う事なんか何にもならないぞ。

そういう女性に対する差別や偏見がジェンダー平等社会の実現を遅らせているのよ。



母



目標8: 働きがいも経済成長
～職場で～



父

会社でも、ワーク・ライフ・バランスが大切だと言われているけれど、僕は仕事が忙しく、家のことは、恥ずかしながら、妻にまかせっきりなんだよね。

私は、非正規社員だから、正規社員と同じようにフルタイムで仕事をしていても賃金や福利厚生面で大きな違いがあるのよ。



職場の同僚



父

労働者が得る収入や学び、キャリア等の著しい格差をなくしていく環境作りが大切なんだよな～。
不平等は長期的な経済成長の妨げににならないからね。

日本も、2030年までに「若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する」を、SDGs目標8の12のターゲットの一つにしているから、目標の実現「すべての人のための継続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)」を推進して行かなければならないんだよ。我々もそうした意識を持つことが大切なんだよな。でも、頭で理解していても行動が伴わなければ無意味だよな。僕はまず、仕事と家庭の調和をはかる事にするよ。

SDGs 気づきの小話



目標11:住み続けられるまちづくりを
～家庭で～



祖父

ただいま。ふう、重かった。

お爺ちゃん、本はネットで買えば家まで届けてくれるよ。ポイントも付くし。



勉(子)



祖父

地元の店で買い物をしないと、町が寂れて行ってしまうんだぞ。それに、地元のお店は地元へ納税するから、払ったお金の一部は行政サービスとして皆にかえて来るんだよ。



祖母

そうね。あとは、意識してバスを利用するとかね。

バスに乗るだけで協力になるの？



勉(子)



祖父

公共交通も利用しないと衰退するんだ。免許を返納してみたらバス路線が廃止になっていたのでは困るから、なるべく利用して応援していかないと。



目標17:パートナーシップで
目標を達成しよう
～家庭で～



遥(子)

この間、甲府市から文化交流事業の一環として、姉妹都市のデモイン市に夏休みに一週間ほど派遣された中学生たちが、ホームステイを経験した報告会を聞きに行ってきたよ。クラスメートがそのプログラムに参加したんだ。

へえ、甲府市はそんなチャンス若い世代に与えてるだね。



祖父



母

中学生達がホームステイファミリーの優しさを聞かせてくれたり、自分達の英語がいかにか伝わらないかを実感してもっとコミュニケーション能力を高める努力をしないと決意表明したり、シンプルにアメリカと日本の違いに目から鱗だったと教えてくれたり、みんなイキイキと楽しく発表していて、こんな中学生達がこれからの甲府を担って行くなんて、明るい未来が感じられて、心が温かくなったわ。

それは良かった、お爺ちゃんも聞きに行きや良かったなあ～



祖父



カノ(子)

私も聴きに行ったけど、こう言う交流が、世界中のあらゆる人たちが協力するパートナーシップを充実させる為の人材作りに大事だと思うな。

【寸劇ストーリーより抜粋】

- (祖父) 今年はジャガイモも玉ねぎも豊作だ。
- (父) お義父さん、はねだしを貰ってもいいかな？
- (祖父) いいけど、何に使うんだい？
- (父) 友達が子ども食堂をやっているから持って行こうと思って。
- (カノ) お父さん、行ってみたの？ どんな感じだった？
- (父) 子どもたちが学生やお年寄りと一緒に料理をしていて、凄く楽しそうだったよ。みんなで作ってみんなで食べると美味しくてさ。みんなモリモリ食べていて、つられて僕もお代わりしちゃったよ。
- (母) あなたがお代わりするなんて珍しいわね。
お料理の先生がいたの？
- (父) いや、料理を教えていたのは近所のお年寄りだよ。
一人暮らしで、以前は殆ど外に出なかったそうだけど、今は子ども食堂に来るのが生き甲斐なんだってさ。
- (祖母) 出来る事があるのって、それだけで嬉しいものね。
- (父) 学生は子供たちと遊んだり、勉強も教えていたよ。
そういえば、家だと弟の相手をしないといけなくて宿題ができないって子が、ここだと学生が弟と遊んでくれて勉強も教えてくれるから宿題がはかどるって喜んでたよ。
- (勉) へえ、ヤングケアラーの支援にもなっているんだ。凄いな！
- (カノ) 『すべての人に健康と福祉を』だね。
- (勉) 学習支援もしているから『質の高い教育をみんなに』でもあるね！
- (祖父) いいことじゃないか。はねだしで良ければ好きなだけ持ってけ。
- (父) ありがとう、お義父さん。



- (カノ) ただいまー。
- (父) ただいま。
- (勉) あ、姉ちゃん、父さん、おかえり。
- (祖父) 随分早く帰ってくるんだな。サラリーマンと言えは少し前には「24時間働けますか？」なんてCMもあったのに。
- (カノ) 今の時代にそんなことしたらコンプライアンス違反になっちゃうよ。
- (勉) 今はワークライフバランスを大切に作る時代だものね！
- (カノ) うん。『働きがいも経済成長も』だよ。
- (祖父) 俺たちの時代とは随分違うんだな。



- (祖父) さて、それじゃあ俺は、登校の見守りに行ってくるぞ。
- (勉) えっ、それって小学生の保護者会がすることじゃないの？
- (母) 今は共働きが多いから、小学生の親には負担が大きいよ。
- (祖父) 俺たちが登下校の見守りを手伝う代わりに、自治会の祭りの準備を手伝ってもらうことにしたんだ。俺たちもそろそろ重い物運ぶのとかきついし、準備に参加したらお祭りにも親子で来てくれるから、こっちの方が有り難いくらいさ。
- (カノ) 他団体との連携は『パートナーシップで目標を達成しよう』だね！



【寸劇ストーリーより抜粋】



- (語り) ある日、回覧板に挟まっていた『ジェンダー平等を学ぶ会』のチラシを見たお母さんは、両親と一緒に参加してみることにしました。
- (講師) さて、皆さんは昭和生まれですか？
- (祖父) ここにいるのは、みんな昭和生まれさ。
- (講師) それでは、平成生まれの人たちは、新しい価値観の中で学んでいる事をご存じでしょうか。
- (母) カノと勉は平成生まれね。
- (講師) 今の教育は皆さんが受けてきたものとは随分と違って、特にジェンダー平等や、多様な人々を受け入れる価値観は、教育の世界でどんどん浸透しています。例えば、男女混合名簿を使うなど性別で分けることをできるだけ避け、生徒を呼ぶときや生徒同士で呼び合うときは「〇〇さん」に統一されています。
- (祖母) えっ！あだ名とか、ちゃん付けで呼ばないの？親しみがあっていいのに。
- (講師) これは、本人が望まないあだ名をつけられた辛さから不登校になったり、いじめの原因になったりすることを避けるためと言われていました。また、「男の子だから」「女の子だから」と口にする大人をよく見かけますが、今は男女が同じ内容を一緒に学んでいます。
- (母) 私達が中学生の時は女子が家庭科、男子は技術の授業に分かれていたわね。
- (講師) 技術と家庭科を男女とも学ぶようになってから約30年が経ち、性別で役割分担をする必用はなくなってきました。
- (祖父) 俺たちの頃とは全然違うな…。
- (講師) 最後に、一冊の絵本を紹介します。
- (語り) その絵本は、2羽の雄のペンギンの物語でした。2羽はとても仲が良く、いつも一緒にいて、一緒に泳ぎ、やがて一緒に巣作りを始めました。そして、他のカップルが卵を温めて赤ちゃんペンギンが生まれるのを見て、2羽は近くにあった、卵に似た丸い石を拾ってきて、毎日毎日交替で温めはじめました。でも、石の卵からは赤ちゃんは生まれません。この様子を観ていた飼育員が、他のカップルが産み落とされたまま放っておかれている卵をそっと2羽の巣に置いてみたところ、やがて赤ちゃんペンギンが生まれたのです。
- (語り) 勉強会が終わって家に帰った祖父母と母は、早速家族で今日の話をしました。
- (祖母) 今日は色々と勉強になったわ。でも、最後のペンギンの話には驚いたわね。
- (母) 今はああいうお話の絵本もあるのね。
- (カノ) お母さん、そのお話はアメリカのセントラル・パーク動物園に実際にいた、雄同士のペンギンのカップルの話よ。
- (母) えっ、そうなの？
- (勉) 「家族といえば父親と母親がいて子供がいるもの」なんて決まりはないってことを伝えている絵本なんだよ。
- (祖父) 俺たちが子供の頃には考えられない絵本だ。今は色んな人がいる事を小さな頃から学んでるんだな。
- (祖母) カノたちの世代は少子化の影響で苦労するって言われているのに、日本では、授かった命の1割が、妊娠中絶で失われているそうよ。このペンギンの話みたいなことを、人でも出来たらいいのにね。
- (母) お母さん、私も思うけど同性婚が認められていない日本じゃ無理よ。
- (父) そうでもないよ。里親制度の一部は単身者でも使えるから。
- (勉) あまり知られていないけど、国も里親を推進しているし、大阪では男性カップルを里親として認定した実例があるよ。
- (母) ええっ、そうなの！？
- (祖父) 父親が2人か…俺には想像もできんが、カノたちの苦労が少しでも減るなら、その方がいいよなあ。
- (カノ) 『ジェンダー平等を実現しよう』で社会全体が子育てに優しくなれば、少子化問題の解決に向けて大きく前進すると思うわ。
- (勉) 僕たちまでじゃなくて、将来の世代に持続可能な社会を残さないとね！
- (語り) カノさん家の日常は、持続可能な開発目標、SDGsに関わる出来事で満ちあふれていましたね。皆さんも、SDGsに敏感な視点で日常を見てください。そして、気づきを周りに伝えてください。取り組みの恩恵を受ける側だけでなく、取り組む側においても「誰ひとり取り残さない」ことで、持続可能な社会の実現を目指すのが、SDGsです。

SDGs プロジェクトチーム

・天野光江・小田切進・落合洋子・川邨靖・酒井大介・清水正・中村京子・矢崎真由美

第8期委員名簿

(五十音順・敬称略)

No.	氏 名	所属団体等	No.	氏 名	所属団体等
1	天 野 光 江	玉諸自治連	19	五 味 明 美	山城自治連
2	井 尻 真理子	新紺屋自治連	20	齋 藤 智 子	公募
3	今 村 ヒロ子	国母自治連	21	酒 井 大 介	公募
4	江里口 智 美	相生自治連	22	志 茂 清 美	女性団体
5	遠 藤 文 子	大国自治連	23	清 水 正	北新自治連
6	荻 原 真理子	池田自治連	24	末 木 玲 子	千代田自治連
7	奥 田 正 治	大里自治連	25	青 平	公募
8	小 澤 房 子	商工会議所	26	関 和 美	相川自治連
9	小田切 進	東自治連	27	鷹 野 史 子	女性団体
10	落 合 洋 子	公募	28	辰 巳 義 正	新田自治連
11	上 條 孝 子	羽黒自治連	29	田 中 克 枝	中道自治連
12	川端下 陽 子	公募	30	永 井 利 枝	琢美自治連
13	川 邨 靖	貢川自治連	31	中 村 京 子	朝日自治連
14	菊 嶋 慶 彦	湯田自治連	32	野 村 明 美	里垣自治連
15	河 野 彰	上九一色自治連	33	藤 原 一 三	穴切自治連
16	奥 石 直 美	公募	34	森 みどり	甲運自治連
17	後 藤 貴 仁	公募	35	矢 崎 真由美	商工会議所
18	小 林 清 巳	住吉自治連	36	山 田 千恵美	春日自治連

委員長…井尻 真理子

副委員長…関 和美

第8期 甲府市男女共同参画推進委員会 活動報告書

令和6年3月発行

編集・発行 甲府市男女共同参画推進委員会
事務局 甲府市市民部人権男女参画課内

甲府市丸の内一丁目18-1

電話 055-237-5209

甲府市男女共同参画推進委員会の活動は甲府市ホームページ
女性活躍支援サイト「**甲府なでしこPlus**」に掲載しています。
<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/nadeshiko-plus/index.html>

【ホーム＞女性活躍＞女性団体の紹介＞甲府市男女共同参画推進委員会の活動】

